

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅱ (ライフステージと保健活動)	3年次 前期	必修	講義	1単位 (30時間)	池田 由貴 ※
授 業 概 要					
人々が生涯を通じた健康課題を解決するための支援として、各ライフステージ(母子、成人、高齢者)における公衆衛生看護活動について学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 母子保健の理念・動向をふまえ、生涯を通じた女性の健康づくりと次世代をすこやかに育てるための母子保健活動について説明する。 2. 成人保健の理念・動向をふまえ、生活習慣を見直し早世や障害を予防するための成人保健活動について説明する。 3. 高齢者保健の理念・動向をふまえ、高齢者の健康と生活を支えるための高齢者保健活動について説明する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-7	1. 地域における母子保健活動 1) 母子保健福祉の理念・動向 (1) 母子保健の理念 (2) 性の多様性 (3) 少子化と次世代育成支援施策 (4) 健やか親子21 (第2次) 2) 母子保健における健康課題と支援 (1) 妊産婦から乳幼児への健康課題と支援、療育支援 (2) 関係者・機関との連携・協働 (3) 地域ケアシステムの構築(妊娠・出産包括支援事業) 3) 支援ニーズが高い対象と家族の健康課題と支援 (1) 児童虐待 (2) 貧困 (3) 特定妊婦				明地由紀子※
8-15	2. 地域における成人保健活動 1) 成人保健の理念・動向・成人保健施策 2) 成人の健康課題と支援 (1) 成人の生活と健康課題 (2) 各種がん・生活習慣病の発症予防と重症化予防への支援 3) 成人保健活動の実際 3. 地域における高齢者保健活動 1) 高齢者保健の理念・動向・高齢者保健福祉施策 2) 高齢者の健康課題と支援 (1) 介護予防への支援・要支援・要介護者・家族への支援 (2) 自立した生活を維持するための支援 3) 高齢者保健活動の実際				池田 由貴※
学 習 方 法					
講義 グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験(評価の詳細については、初回講義時提示する)					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
[教科書] 公衆衛生看護.jp 荒賀直子 インターメディカル 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 メデック・メディア 厚生指の指標 国民衛生の動向 厚生統計協会					